

はたらく人が暮らす地域の課題解決に向けて —2014年中央ろうきん助成プログラム—

パートナーミーティング(贈呈式)を開催！ 市民団体と<中央ろうきん>の連携・協働を確認

中央労働金庫(理事長:吉田正和/東京都千代田区 以下<中央ろうきん>)では、中央ろうきん社会貢献基金を通じたCSR活動の一環として、2002年より『中央ろうきん助成プログラム』*を実施しております。

このたび、2014年の助成団体決定(57団体、総額1,870万円)を受け、5月23日(金)、<中央ろうきん>本店ビルにて、記念品贈呈と交流を兼ねた「パートナーミーティング」(贈呈式)を開催しました。

パートナーミーティングは、助成団体と<中央ろうきん>のパートナーシップ構築のみならず、参加者それぞれの分野や地域を越えた新たなネットワークを築いていただくことを目的に、毎年開催するものです。当日は、助成団体の代表者ほか、選考にご協力いただいた選考委員、中間支援センターの方々、中央ろうきん役職員など約120名が一堂に会し、交流と親睦を深めました。

冒頭、吉田正和(中央労働金庫理事長 兼 中央ろうきん社会貢献基金会長)の開会挨拶に続き、選考委員長 赤塚光子氏(特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会会長/元立教大学教授)より選後評をいただきました。また、記念品贈呈は助成対象エリアである茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨の8地域ごとに実施し、各都県本部の中央ろうきん職員が贈呈を担当しました。

後半の交流会では、地域別、分野別のグループ分けを仕掛けに、参加者同士のマッチングの場づくりを企画。参加者からは、「一緒に活動したいと思う団体とたくさん出会えた」「他の地域で同じ分野に取り組む団体とのつながりを今後活かしたい」などの声が寄せられ、活発な情報交換と交流の機会となりました。

年ごとに実施されるこのプログラムでの出会いは、一期一会。当金庫では、今後も市民活動団体とのパートナーシップを築き、勤労者を取り巻く福祉課題の解決に取り組んでまいります。

<2014年パートナーミーティング>



助成団体スピーチ(神奈川地区)



オリジナル記念盾の贈呈(群馬地区)



集合写真(東京地区・継続団体)

*『中央ろうきん助成プログラム』は、「ひとづくり」「まちづくり」「くらしづくり」に携わるボランティアグループやNPOなどの市民団体の活動を支援することを目的に、2002年に創設した社会貢献制度で、特定非営利活動法人市民社会創造ファンド(運営委員長:山岡義典氏/東京都中央区)と中央ろうきん社会貢献基金が運営しています。今年度は応募総数228団体の中から、選考委員会での厳選の結果、57団体・総額1,870万円の助成が決定しました。

◎報道関係者の皆様からの本件に関する取材・お問い合わせ先

中央労働金庫 総合企画部<CSR 企画> 担当:高瀬、荒原 TEL:03-3293-2048